

四日市公害とは

昭和30年代、当時の日本は戦後復興から高度経済成長期に入りました。経済優先の社会背景のもと、本市を含む全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな公害が発生しました。

本市でも、大気汚染によって多くの人々がぜん息に罹患（りかん）するなど「四日市公害」と呼ばれる深刻な公害問題が生じました。

こうした状況を受けて、全国に先駆けて昭和40年に本市が実施した公害健康被害者に対する医療費救済制度、そして昭和42年に提起された四日市公害裁判などは、日本の公害問題の解決への道を開き、産業の発展と環境保全を両立させるきっかけとなりました。

市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みにより、昭和51年度には、ぜん息の主な原因とされる亜硫酸ガス（二酸化硫黄）濃度が、国の基準を市内全域でクリアするなど、大幅に環境が改善されました。



煙突のフレアスタック



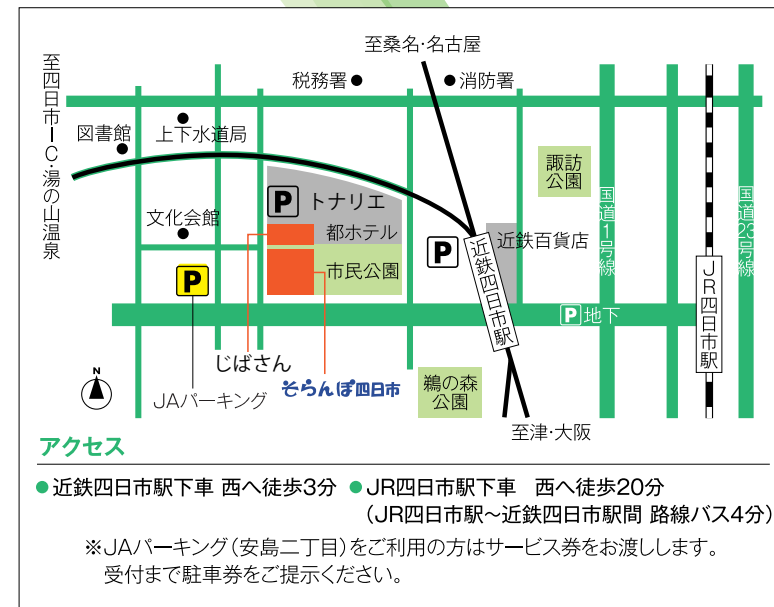
塩浜小学校でうがいをする児童



高煙突の建設



昭和30年代半ばのコンビナート



【お問い合わせ先】
四日市公害と環境未来館

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号
☎(059)354-8065 FAX(059)329-5792
E-mail: kougai-kankyomiraikan@city.yokkaichi.mie.jp



四日市市立博物館・プラネタリウム

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号
☎(059)355-2700 FAX(059)355-2704
E-mail: hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp



そらんぼ四日市

四日市公害と環境未来館
四日市市立博物館・プラネタリウム



そらんぼ四日市は、博物館、プラネタリウム、四日市公害と環境未来館の3つの施設を併設しています。

この3つの施設は、「環境」という共通テーマを掲げ、四日市市ならではの情報発信と学習支援機能を持っています。

※活動エリアは、じばさん2階

未来へ、より良い環境を引き継ぐために

「四日市公害と環境未来館」にご来館いただき、誠にありがとうございます。

四日市市では、昭和30年代に四日市公害が発生し、多くの人が健康被害などに苦しみました。その歴史と教訓を次世代に伝えるとともに、環境改善の取り組みや産業の発展と環境保全を両立したまちづくり、さらには、その経験から得た知識や環境技術を広く国内外に情報発信することを目的に「四日市公害と環境未来館」を開館しました。

当館では四日市公害の発生に至る経緯や被害、環境改善に向けたさまざまな方策等について、子どもから大人までを対象に、映像や写真、絵本などを用いてわかりやすく展示しております。

また、「四日市市立博物館」の常設展示や「プラネタリウム」と一緒にご覧いただくことで、私たちの生活と環境との結びつきを理解したり、地球規模で環境を考えたりすることができる施設となっています。

未来へ、より良い環境を引き継いでいくために当館で学び、家庭や地域での環境活動につなげて頂ければ幸いです。



ICEETの国内受け入れ研修



吉崎海岸のハマヒルガオ



水沢の茶畑



現在のコンビナート

博物館/3階

常設展 時空街道



2 [古代]久留宿の村(竪穴住居)



3 [中世]四日市の市



4 [近世]四日市宿

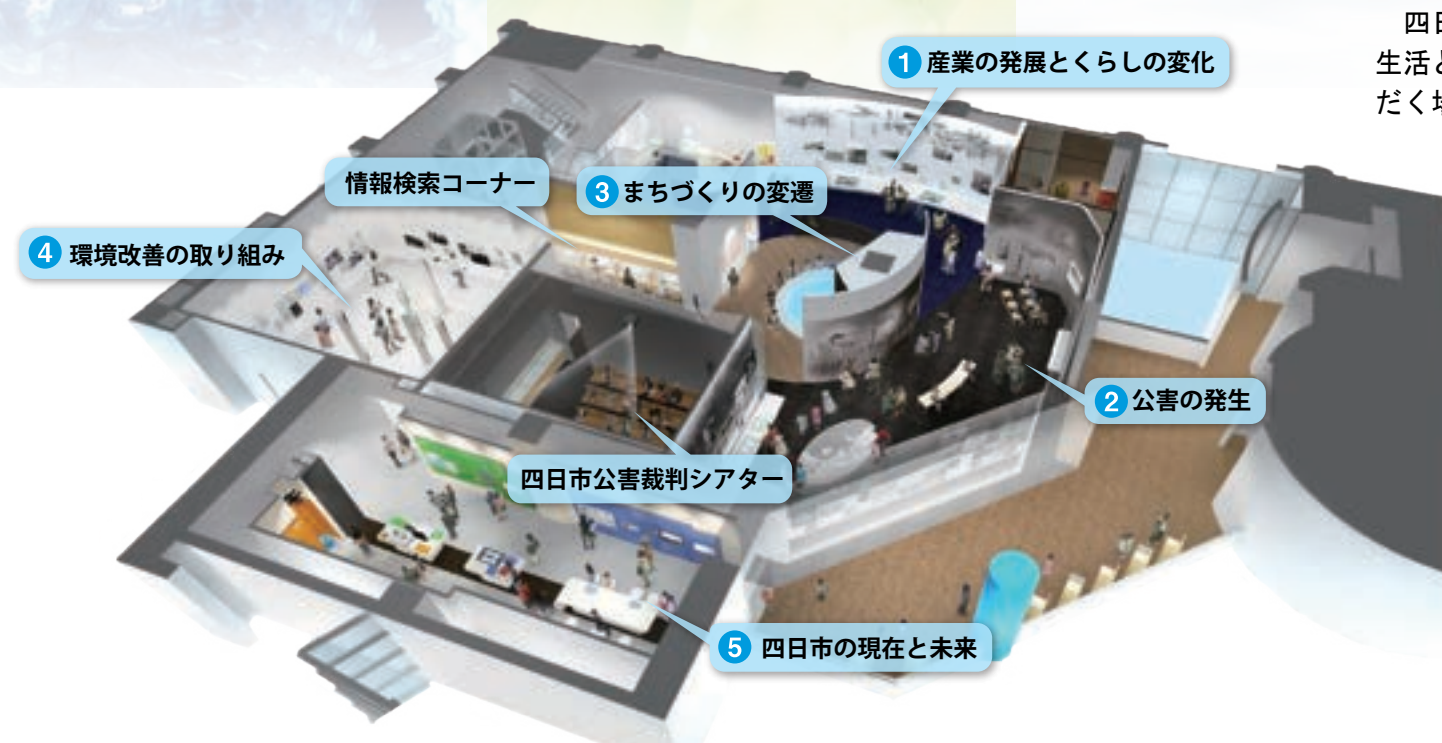
時間と空間を自在に行き来し、歴史を体感できる「時空街道」には、弥生時代の竪穴住居、室町時代の四日市の市、江戸時代の四日市宿がそれぞれ原寸大で再現されています。

四日市のまちの発展と、そこに住む人々のくらしの変化を体感することができます。

この「時空街道」では、四日市の原・古代から江戸時代までの歴史をたどりますが、明治時代から現代までの四日市の歩みを展示する「四日市公害と環境未来館」と合わせ、原・古代から現代までの四日市の歴史を、一つの流れとしてご覧いただけます。

四日市公害と環境未来館

展示エリア/2階



1 「産業の発展とくらしの変化」
近代以降の港の発展、戦争を経てコンビナートが立地するまでの四日市市の様子を、当時の写真やくらしの再現によって知ることができます。



2 「公害の発生」
戦後、全国で大気汚染が問題に…工業都市四日市でも多くの苦情や深刻な健康被害が…当時の写真や貴重な音源から、公害の歴史と被害の深刻さを伝えています。



3 「まちづくりの変遷」
1889年に誕生した四日市町が現在の姿になるまでを、四日市市の模型に映像を投影し解説しています。



「四日市公害裁判シアター」
1967年、磯津の公害認定患者がコンビナート企業を相手に裁判を起こします。当時の資料や証言を交えた映像から、四日市公害裁判とその影響を解説しています。

展示エリアを「①産業の発展とくらしの変化」「②公害の発生」「③まちづくりの変遷」「④環境改善の取り組み」「⑤四日市の現在と未来」の5つのコーナーに分け、公害による被害のほか、公害発生に至る経緯や環境改善の取り組みなどを展示しています。

四日市公害に関する資料や映像などを通じて、環境と産業、そして人々の生活との関わりを学び、環境の大切さを体感して、未来の環境を考えていただく場です。



4 「環境改善の取り組み」
市民・企業・行政一体の環境改善の取り組みと成果、国際貢献について紹介しています。



「情報検索コーナー」
関係者のインタビュー証言映像の閲覧や当館で所蔵している資料の目録を検索できます。



5 「四日市の現在と未来」
環境問題の現状や取り組みを紹介しています。クイズやゲームにも挑戦しながら、未来の環境を良くするために私たちができることを考えてみましょう。

学習エリア/1階



学習エリアでは、皆さんの公害・環境学習のお手伝いをします。研修・実習室では、四日市公害についての語り部の講話やガイダンスを行うとともに、エコ工作などのワークショップも開きます。また、図書スペースには公害や環境に関する本を1万冊程度備え、展示・交流・学習スペースでは自習などができます。

プラネタリウム/5階

GINGA PORT 401

宇宙船に乗って宇宙への旅に出よう!

リアルな星空と最先端の宇宙を再現したプラネタリウム!

港まち四日市にちなんで5階フロアを「GINGA PORT 401」と名付け、宇宙の港と位置付けています。そこに停泊する宇宙船に見立てたコズミックルーザー(プラネタリウムドーム)に乗って、宇宙への旅に出てみませんか。

プラネタリウムで宇宙を体感してみましょう。

プラネタリウムの光学式投映機は、直径48cmのコンパクトな設計でありながら、1億4千万個の星を映し出すことができます。また、人間の目に見える約9,500個の星の色や明るさも再現しています。さらに、4Kデジタルレーザープロジェクターによって、精彩に富んだ映像を実現し、60個のスピーカーによる大迫力のサウンドも楽しめます。もちろん、独自開発の座席も超快適です。



コズミックギャラリー



コズミックラウンジ

「宇宙」および「宇宙から見た地球環境」をテーマにした展示があります

地球環境や宇宙の不思議を体験型プログラムで学びます

活動エリア/じばさん2階



博物館北側の「じばさん」2階に「四日市公害と環境未来館活動室」を設けています。四日市市エコパートナーの登録をした団体などが活動室・交流室・展示スペースとして利用できます。

※四日市市エコパートナーとは、四日市市環境計画に基づいて市と協働で環境学習、環境活動を行っていただけの団体、個人などを指します。